学籍番号

名前

空白が足りない場合には裏を使用せよ。

流体の性質と分類

1-1 空欄に当てはまる言葉をいれよ.

- ① 粘性の強さを表す物性値は粘性係数であり、これを密度で割ったものを()という。
- ② () とは壁近傍の速度の小さな流れの領域であり、粘性の影響を強く受ける. 一方, 壁から離れたところの流れは() と呼ばれ, () 流体で近似できる.
- ③ 圧縮性の影響の大きさを示す無次元量は() である.この値が1より大きな流れを()といい、衝撃波が発生する.

流れの基礎

2-1 空欄に当てはまる言葉をいれよ.

- ① 体積流量とは、ある断面を単位時間あたりに通過する流体の () である.
- ② 周速が半径に比例する旋回流を()という
- ③ 場所によって方向や速さが異なる流れを () という.
- ④ 時間と共に変化する流れを()という.

2-2 ある物体表面付近の流速 u, v が次式で与えられている. ただし、Uは主流の流速、 δ は境界層厚さであり、粘性係数 μ をとせよ.

境界層内
$$(0 \le y \le \delta)$$
 $u = \frac{3U}{2} \left(\frac{y}{\delta}\right) - \frac{U}{2} \left(\frac{y}{\delta}\right)^3$, $v = 0$

主流 $(y \ge \delta)$ u = U , v = 0

- ① 主流での粘性によるせん断応力 τを求めよ.
- ② 境界層内でのせん断応力 τ を求めよ.
- ③ $\delta=10~\text{mm},~U=1.5~\text{m/s}$ のとき、壁面せん断応力 τ_{wall} を求めよ、 $\mu=18\times10^{-6}~Pa$ ・s とする、
- ④ この境界層は層流境界層、乱流境界層どちらか。

測定に関する基礎事項

3-1 代表的な流量測定法の1つ挙げ、その原理、長所や短所を延べよ。

3-2 氷が海水に浮かんでいる. 海面上に出ている氷の体積は $100~{\rm m}^3$ である. 氷の全質量を求めよ. ここで、氷および海水の比重はそれぞれ $S_i=0.92,~S=1.025$ とする.

3-3 二次元流れを考える. 速度 1 m/s の風が <math>x 軸の正方向に時刻 0 から 3 秒間吹いた. 次に急に風向きが変わり、速度 1.41 m/s x 軸正方向から反時計回りに 45° 方向に 2 秒間吹いた. さらに、y 軸正方向に 1 m/s 0 風が 3 秒吹いた.

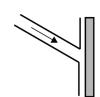
時刻 O に原点から流れ出た流体粒子の流跡線、時刻 O からの原点からの流脈線をそれぞれ書け、

準一次元流れ

4 新幹線が 270 km/h のスピードで走行している。 先端車両のノーズ部分(よどみ点)における圧力上昇はどのくらいになるか求めよ。 空気の密度を 1.23 kg/m^3 とせよ。

運動量の法則

5 水をノズルから噴出させ、壁に当てている。この噴流は壁となす 角 60°で壁にあたり、その後、壁に沿って放射状に拡がって流れている。噴流の流速を 18 m/s、ノズル出口直径を 80 mm として、壁に働く 力を求めよ。検査体積を図示すること、また水の密度は常識的な値とする



管内の流れ

6 図のように2つのタンクを円管(内径 $d=100~{\rm mm}$, 長さ $L=8~{\rm m}$, 管摩擦係数 $\lambda=0.03$)でつなぎ、中のオイルを流している。 $H_1=4~{\rm m}$, $H_2=3~{\rm m}$ のとき、円管内の流量を求めよ、入口損失係数は無視出来るとし、管摩擦損失、出口損失を考慮せよ、 また、この時の Re 数を求め、層流、乱流を判断せよ、動粘度を $\nu=1\times10^{-5}~{\rm m}^2/{\rm s}$ とする.

